

原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年10月15日 No.84

千葉地裁で原告勝訴！国は12連敗



原爆症認定千葉訴訟は14日、千葉地裁で判決言い渡しがありました。堀内明裁判長は、新認定基準ですでに認定されている2人に加え、新たに2人の却下を取り消し、原告全員を原爆症と認定しました。原告の一人である高田末子さんは、「この5年あまりというもの、長い月日でした。その中で弁護士の方、支援者の方がひとつになって頑張ってくれたので私も助かりました。本当にありがとうございました」と語りました。千葉県原水協の椎葉重盛事務局長は、「歴史的勝利

の瞬間、私たち全員のたたかいを最後まで広げて、抜本的な改定をもとめるたたかいに勝利するまで力を合わせよう」と呼びかけました。

17日まで厚労省前で控訴するな行動

翌15日には勝訴判決を受け、千葉訴訟原告団、弁護団、支援団体、日本被団協、全国支援ネットなどは厚労省前で「国は控訴するな」「原爆症認定訴訟を一括解決せよ」と求める行動を行いました。原告の朝比奈隆さんは、「司法の判断は12回勝っている。われわれの原爆症認定訴訟は行政の態度を変えるとということでもある。20世紀の大虐殺を訴え続けていきたい」と語りました。訴訟が始まってからずっと「原告の分身」としてともに行動してきた千葉土建主婦の会や、千葉県健康友の会なども控訴をしないでほしいと訴えました。厚生労働省前行動は17日まで連日11時45分から行われます。

各地の6・9行動

小雨降る中、署名行動 宮城

宮城県原水協は10月6日、小雨降る仙台市の繁華街で、昼休みの時間に「核兵器のない世界を」の新署名・宣伝行動を行い12人が参加。「核兵器のない世界は人類共通の願い」の訴えに、スーツ姿の男性は「この署名、みんな無関心のように歩いているが、みんな核兵器ない方がいいと思っているよ」と話しながら署名。高校生に「核兵器は世界に2万6千発もあるんよ」と声をかけると「そんなら署名やる」などといい、全体で65人の人たちが署名、3750円の募金が寄せられました。

原爆症認定集団訴訟の千葉地裁判決についての要請

2008年10月14日
原水爆禁止日本協議会

本日、原爆症認定集団訴訟について千葉地方裁判所は原告・被爆者勝利の判決を言い渡しました。

ことし4月、国・厚労省は原爆症認定に関する新たな方針を発表しました。しかしそれ以後にくだされた司法判断でも、新方針が不十分なものであることは一致した判断となっています。

被爆から63年余を経たいま、これ以上問題解決を長引かせることは国・厚労省の人道性が問われる問題です。

我々は、今回の判決を受け入れるとともに、この間の地裁判決の控訴をすべて取り下げ、事態の一括解決と被爆の実態に見合った認定方針の見直し・改定をただちに行うよう強く要求するものです。

いつもより多く署名集まる 山口

山口市原水協は6日、市内で「6・9行動」を行いました。好天の日、百貨店のオープンウィークということもあり、人通りが多くいつもより多い51筆の署名が寄せられました。山口市外からも来ており、「横浜に住んでいるが、原子力空母が来たわ...」「いつまでもやっている戦争を止めさせんやあ...」など話しながら署名しました。